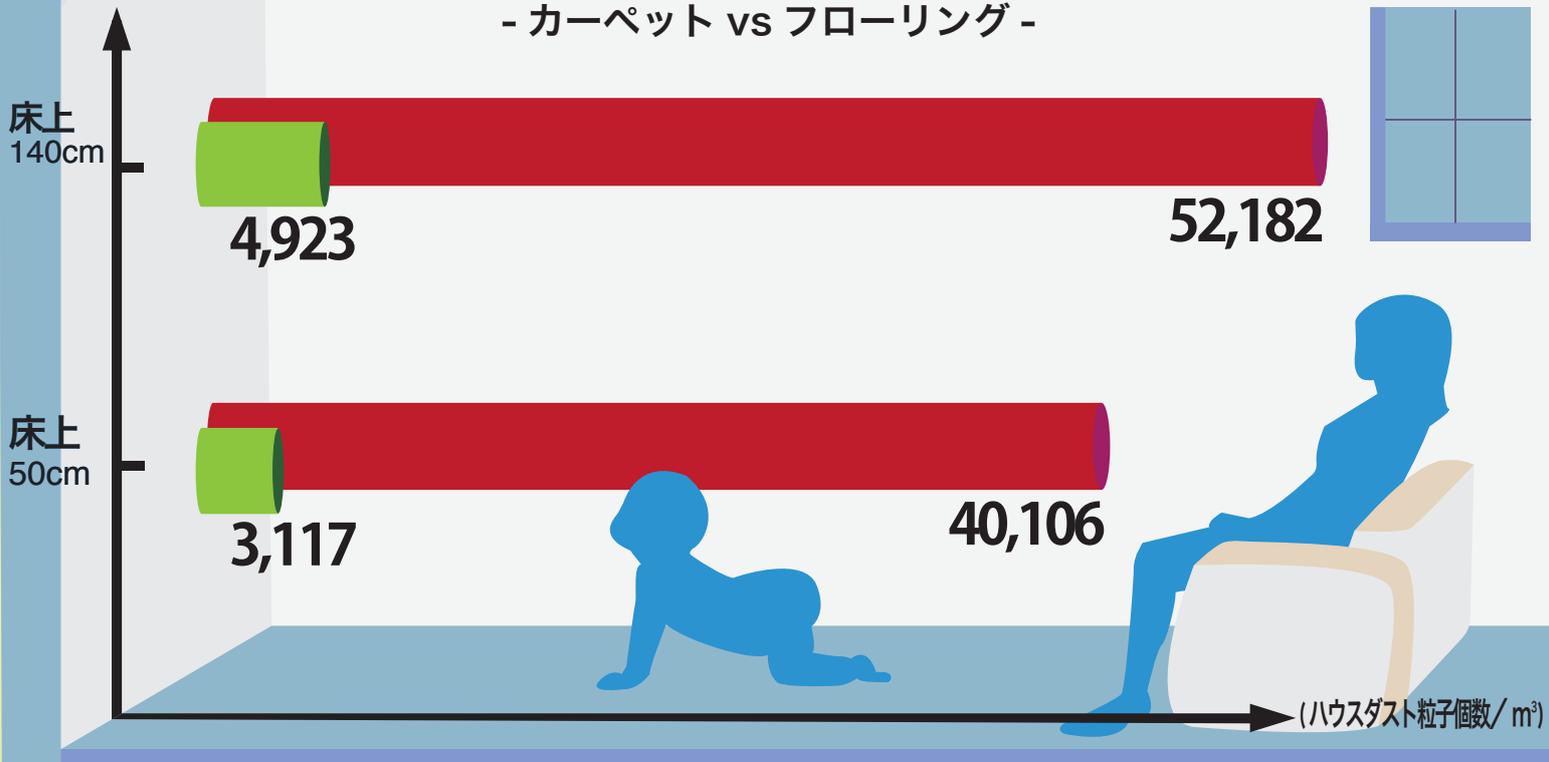


カーペットのハウスダスト舞い上がり抑制効果に関する実験

ハウスダスト 舞い上がり量

カーペットは 1/10

ハウスダスト舞い上がり量※の比較
- カーペット vs フローリング -



■ カーペット ■ フローリング

※ハウスダストが舞い上がってから3分後に測定

カーペットでハウスダスト対策!

フローリングに比べ安心・安全

歩 行を想定したハウスダスト (5~10μm=ダニアルゲンの粒径に相当) の舞い上がり量を、カーペットとフローリングで比較しました。その結果、カーペット敷きの空間での舞い上がり量はフローリングのわずか約10分の1であることが実証されました。また、瞬間的には最大約20分の1という結果も示されました。

実験実施:地方独立行政法人 大阪府立産業技術総合研究所 (受託研究制度により実施)

- 1、試料:タイルカーペット(ナイロン糸/ループ)、フローリング材 (サイズ50×50cm)
- 2、粉体:JIS Z 8901「試験用粉体」15種(混合粉体)※模擬ハウスダストとして使用
- 3、測定装置:クリーンブース、パーティクルカウンター
- 4、実験手順(測定環境 温度20℃、湿度65%RH)
 - イ、試料に試験用粉体1.0gを均一散布し、7kgのローラーで固着させた(30秒間)。
 - ロ、タッピングマシン(軽量床衝撃音発生器)を用いて粉体を飛散、舞い上がらせた。
 - ハ、5分後、タッピングマシンを停止し、床から50cm、140cmの位置の飛散粉体量をパーティクルカウンター(3分間吸引)で測定した。

「カーペットでハウスダスト対策!」動画



<http://youtu.be/nQmdwsynXpY>

YouTubeへアクセス!

“カーペットは1/10”を
ビジュアル化!



カーペットと学習環境に関する意識調査

カーペットの学習環境への影響



日本カーペット工業組合では、全国の学習塾経営者や図書館関係者を対象に、「カーペットと学習環境」に関する意識調査を実施し、190名からご回答をいただきました。（調査期間 2011年-2013年）

「カーペットを敷くことは、良質な学習環境の形成に影響があると思いますか？」との質問には、回答者のおよそ7割が「よい影響がある」と答えました。

カーペットの多様な特性—「安全性（転んでもケガをしにくい）」、「快適性（ホコリが舞い上がりにくい）」、「静音性（音が響かない）」などが高く評価されています。

学カアップには カーペットでしょ!



学習塾 P 教室 教室長 K 様

カーペットを敷けば教室を静かに保てる。鉛筆などを床に落としても音がしないので、みんな勉強に集中できます。

集中力
アップ!



Y 学習塾 講師 K 様

子どもたちがふざけて暴れた時にけがの防止にもなるので、全教室カーペットを敷いています。

安全!



S 学習塾 塾長 S 様

塾の玄関で靴を脱ぎ、カーペットの上に足を踏み入れると<勉強するぞ!>というスイッチが入る子どもたちが多い。

勉強意欲
向上!

